

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①アラン・シュピオ著『フィラデルフィアの精神』 勁草書房 (2019年6月刊, vi+206頁, 四六判)</p> <p>国際労働機関 (ILO) が採択した1944年の「フィラデルフィア宣言」は「労働は商品ではない」「一部の貧困は、全体の繁栄にとって危険である」など4つの根本原則で有名である。この宣言の成立から75年を経たが、本書は、ILOが掲げる精神の自由と肉体の安全との結びつきは、依然として経済組織を社会正義の原則に従わせていると説く。また現代社会のグローバル化の過程で支配的な考えは、フィラデルフィア宣言の理念とは正反対だと指摘。社会正義が目標となる代わりに、資本と商品の自由な流通が目標となり、手段と目的が覆されたとみる。本書は、こうした大転換を分析する一方で、フィラデルフィアの精神がいまも今日性をとどめていることを明示している。</p>	<p>③前野隆司著『幸せな職場の経営学』 小学館 (2019年6月刊, 221頁, 四六判)</p> <p>著者は働く人を「幸せ」にする職場を日々追究している。多くの研究者による研究成果を体系化し、幸せのメカニズムを解明。もはや宗教や心理学、哲学の領域のみならず、科学の分野からも語ることができると説く。海外の研究で、就業場所や労働時間、休日などをすべて自分で決定できる主観的幸福度の高い人はそうでない人に比べて創造性は3倍、生産性は31%高い傾向にあり、転職率・離職率・欠勤率はいずれも低いことがわかったという。また、本書では、カネ・モノ・地位による幸せは長続きしないと強調。個の幸せを目指す「個人主義的な因子」とみんなの幸せを目指す「集団主義的な因子」をバランスよく備えることが重要だと提起する。先進的4社の実践例も収録。</p>
<p>②藻谷ゆかり著『衰退産業でも稼げます』 新潮社 (2019年5月刊, 217頁, 四六判)</p> <p>著者によれば、経済成長をもたらすのは、「ハイテク産業のイノベーション」だけではなく、衰退産業のような「ローテク産業」でも可能であるという。本書が取り上げる衰退産業「商店・旅館・農業・伝統産業」には、①長く続き、今後も残すべき「価値」がある②新規参入が少なく比較的ローリスクだが後継者難③労働集約的である半面、生業としてやりがいがある——などの特徴がある。本書では、代替わり時や起業時にイノベーションを起こすことに成功した16社の事例を分析しているが、著者は「ビギナーズ・マインド (初心者の心)」「増値主義 (時とともに価値を積む)」「地産外招 (ローカルな強みを持つ商品で他地域から顧客を招く)」という3つの重要性を説いている。</p>	<p>④平賀充記著『なぜ最近の若者は突然辞めるのか』 アスコム (2019年6月刊, 203頁, 四六判)</p> <p>20代の部下を抱えるあるマネジャーは「若いヤツに気をつかうのはとにかく疲れる」とこぼす。パワハラやブラック企業といった言葉がニュースをにぎわす昨今、いつ自分が当事者になるかわからない。部下をちょっとキツく叱ったら思った以上に傷つけ、突然辞める。20代で4社目、5社目という人もめずらしくない。本書はそんな「扱いにくい職場の若者」に悩む中堅社員に、これを知っておくだけで若者マネジメントがグッと楽になるわずか20のキーワードを示す。例えば「タイムパフォーマンス」。若者は長々と説教されて時間を奪われるよりも、短い時間でピシッと激しく叱られるほうがマシと思っていると明かす。本書を通じて、職場の若者の深層心理が見えてきそう。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2019年6月—8月労働図書館受け入れ)

⑤大谷彰著『プロカウンセラーが教える対人支援術』金剛出版 (230頁, A5判)	⑩澤路毅彦他著『ドキュメント「働き方改革」』旬報社 (279頁, 四六判)
⑥今野晴貴他編『闘わなければ社会は壊れる』岩波書店 (xv+236頁, 四六判)	⑪水町勇一郎著『労働法入門 新版』岩波書店 (xxii+248+4頁, 新書判)
⑦大和総研コンサルティング本部編『この働き方改革が企業と従業員を変える』中央経済社 (ii+x+235頁, A5判)	⑫白河桃子著『ハラスメントの境界線』中央公論新社 (262頁, 新書判)
⑧川上憲人著『ここからはじめる働く人のポジティブメンタルヘルス』大修館書店 (xii+211頁, 四六判)	⑬尾崎孝史著『未和：NHK記者はなぜ過労死したのか』岩波書店 (ix+228頁, 四六判)
⑨佐野薫他編著『アルバイトから学ぶ仕事入門』中央経済社 (ii+V+158頁, A5判)	⑭本田直之著『50歳からのゼロ・リセット』青春出版社 (187頁, 新書判)

労働図書館 <https://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書124,704冊、洋書32,563冊、和洋の製本雑誌26,719冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(244種)、洋雑誌(139種)、紀要(502種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地：〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間：9:30～17:00
 休館日：土曜日・日曜日・国民の祝日・年末年始(12月28日～1月4日)、その他
 電話番号：03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659
 利用資格：どなたでもご自由にご利用できます

貸出：和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス：図書資料の所在調査などのサービスを行っています

